

第 3 6 1 回白石市議会定例会一般質問通告書

順位	質 問 者	質 問 事 項 ・ 要 旨	答 弁 を 求 め る 者
1	9 番 小 川 正 人	<p>白石駅前整備について</p> <p>(1) 宮城交通白石駅前ターミナル廃止に伴い、</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 購入を検討する考えはあるのか。 ・ 購入する場合の利用目的は何か。 ・ 購入しない場合の問題点をどのようにとらえ、解決するつもりか。 <p>(2) 駅前に公衆トイレ設置を検討する必要があるのではないか。</p> <p>(3) 駅西側と東側を結ぶ通路の改修が必要ではないのか。計画等があれば、示していただきたい。</p>	市 長
2	1 5 番 鈴 木 亨	<p>1 農業政策について</p> <p>国の農政について東北農政局と仙南 5 市町との懇談の席で「この農政が実施されれば白石の農業は終わる」と発言されたが、その真意について</p> <p>2 公園の維持管理について</p> <p>大きな公園は別として、地域の個性を生かしたボランティアで、市民協働の公園の美化活動を推進する考えはありませんか。</p>	市 長
3	1 8 番 四 電 英 夫	<p>年々高まりつつあるソフトボール愛好家の要望に応じて、ソフトボール専用球場の建設に取り組む考えがないか、お尋ねいたします。</p> <p>健康長寿を目指す世論が高まっている中で、健康増進を図るため、ソフトボールの愛好者が増えています。現在白石市には、ソフトボール球場が 2 面ありますが、十分な広さがありません。ファウルグラウンドも狭く、打球を追った場合、大変危険です。さらに、グラウンドの上空には高圧電線も架かっており、打球が架線にぶつかることもあり、危険が感じられます。加えて、球場の駐車場も狭く、大会のたびに選手関係者は苦勞しております。</p> <p>よって、これらの事情を改善し、愛好者の要望に応えるために、ソフトボール専用球場の建設に取り組むお考えがないか、お尋ねいたします。</p>	市 長
4	1 番 佐 藤 愿	<p>1 工事の入札状況と改善について</p> <p>行財政改革の一環として、工事の入札のあり方の改善とその結果としての落札率の低下が報じられている。</p> <p>(1) 本市の場合、平成 1 7 年度で指名競争入札と一般競争入札の件数はどうなっているか。また、その比率は変化してきているか。</p> <p>(2) 平成 1 6 年度と 1 7 年度、2 年度の「沖の沢郡山線街路工事」並びに「越河地区農集排事業の工事」の落札状況について、それぞれ</p> <ul style="list-style-type: none"> a) 落札率 9 7 % 以上の工事件数 b) 落札率 9 5 % ~ 9 7 % 未満の工事件数 c) 落札率 9 0 % ~ 9 5 % 未満の工事件数 d) 落札率 8 0 % ~ 9 0 % 未満の工事件数 e) 落札率 8 0 % 未満の工事件数 <p>をお示し願いたい。</p>	市 長

		<p>(3) 工事の費用効果を高めるため、発注の工夫はどのように行われているか。</p> <p>(4) 例えば、「県05年度建設工事入札平均75%」など報じられている。入札の改善に取り組むべきではないか。</p> <p>2 医療・介護・障害者の関係法の改悪の結果、今何が起きているか、対策をどう立てるか。</p> <p>(1) 病院・施設からの退所者の状況、事例を把握しているか。</p> <p>(2) 新予防給付の「予防プラン」は、順調に作成されているか。</p> <p>(3) 「清風」など費用負担の面で市民の入所しにくい状況があるやに聞くが、対応策を考えているか。</p> <p>(4) ア) 自立支援法で自治体はどのような責任を担うことになったか。 イ) 障害者や障害者の施設が今どのような状況に置かれていると把握しているか。</p> <p>3 学校教育の原点と実践の状況について</p> <p>(1) 教育基本法第10条第1項の「教育は国民全体に対し、直接に責任を負って行われるべきものである」という規定は、学校現場ではどのような形で実践されているか。</p> <p>(2) 学習指導要領、「道徳」、小学校における「国を愛する心を持つ」とは、具体的にどのような形で実践されているのか。また、これについて地域、父母からの要望はあるのか。</p> <p>(3) 愛国心学習にA、B、Cなど評価を行っている学校もあるやに聞くが、本市の教育委員会の見解を問う。</p> <p>(4) 一斉学力テストで学校を評価し、児童生徒を競争させることが学力向上につながるという考え方があがるが、本市の教育委員会の見解を問う。</p> <p>(5) フィンランドの教育実践をどう受け止めるか。</p>	市 長
5	24番 佐竹 芳	<p>国の新しい農業政策についての取り組みについて</p> <p>国は、農業・農村の現状から「食料・農業・農村基本法」を制定し、今まで全農家を対象とした作目ごとの価格政策を進めてきたが、今後は担い手を対象とした経営全体に対する所得政策へ大転換を図ろうとしているが、</p> <ul style="list-style-type: none"> ・白石市の農業政策の中で、経営所得安定対策大綱は、どのような位置付けになっているのか。 ・この事業は、19年度から実施となると18年秋から既に事業に取り組むものもあり、今年7月14日までの事業実施計画の申込みとなっているが、実態はどうなっているか。 ・市内全域の農地を有する地区が手を挙げた場合、すべて取り上げるのか、それとも絞り込みをするのか。 	市 長
6	11番 吉田 貞子	<p>(1) 今年度の教育方針の柱について、所信を伺います。</p> <p>(2) 市は、教育方針にそって、どのような予算措置に至ったのか、お尋ねします。</p> <p>(3) 年々小中学校の教育振興費が減っていますが、この理由と内容についてお伺いします。</p> <p>(4) 学校教育の重点事項について</p>	<p>教 育 長</p> <p>市 長</p> <p>教 育 長</p> <p>教 育 長</p>

		<ul style="list-style-type: none"> ・白石市教育課程検討委員会の提言による、教育課程の編成・実施・評価改善の内容をお示し下さい。 ・教職員評価について、職員評価票に基づく校長との面談の実施は、十分に行われているのか。その実施内容について詳細にお示し下さい。 ・教職員評価において、評価結果に対する異論・異議を市町村等教育委員会で取り扱うことが適当とされていますが、どのように対処しているのか。客観性と公平性を十分担保される機関が設置されているのかお尋ねします。 ・小中一貫教育の推進の内容は、どのようなものか伺います。 ・2学期制の導入及び推進について、教育委員会としてのその理念と導入の覚悟について、所見を伺います。 ・市が推進しようとする特別支援教育の体制整備とは、どのような理念にそって、どのような整備を施策展開しようとしているのか、見解を求めます。 ・文字・活字文化の振興とは、具体的にどのような施策展開をお考えなのかお尋ねします。 ・「道徳の時間」というのは、教科としての「道徳」と判断していいのかお尋ねします。そしてその内容は、どのようなものと把握しているのか、見解を求めます。 ・「ボランティア」と「社会体験活動」は、何を指して進めようとしているのか。どのような内容で、どのような時期に実施しようとしているのか、お尋ねします。 ・「家庭教育ノート」とは、どのようなものなのか明確にお示しください。 	
7	2番 水落孝子	<p>就学援助制度について</p> <ol style="list-style-type: none"> (1) 就学援助制度は、教育基本法第3条に規定する教育の機会均等の趣旨による制度ですが、この第3条の「ひとしくその能力に応ずる教育」を『能力の豊かな子どもには豊かな教育を、そうでない者にはそれなりの教育でいい』と解釈する人々がいます。「能力に応ずる」という表現に対するご所見をお伺いします。 (2) 近年の社会状況の中で、本市でも援助を受ける世帯が増加していますが、児童生徒の保護者への制度のお知らせ方法は、どのようにされていますか。 (3) 申請の時期は決まっていますか。随時申請できますか。 (4) 要綱第5条第3項の民生委員の意見を求める必要があると認める場合とはどのような場合ですか。 (5) 申請数に対する民生委員の関与の割合は、どれ位ですか。 (6) 平成16年3月の法改正で、準要保護世帯の国庫補助が交付金化されたことに伴い、就学奨励施行令第一条にあった「民生委員の助言を求めることができる」が削除されています。これに伴い、民生委員の関与をなくす自治体が増えて 	教 育 長

		<p>きており、近隣自治体でも、教育委員会職員が調整するとしているところもあります。</p> <p>そこで、民生委員の関与についてのお考えを伺います。</p>	
8	13番 沼倉啓介	<p>白石市における防災問題に対する現状と課題について</p> <p>過日に相当数のページに及ぶ計画書が示された。しかし、理解不足も手伝ってか、計画書の中からは有事の際の効果を読み取るまでに至らなかった。</p> <p>宮城県沖地震等発生が予測される中で、様々な検証等の必要性の存在が認識されることから、防災にかかわる現状と課題について、お示しをいただきたい。</p>	<p>市長</p> <p>かかわる</p>
9	3番 大庭康一	<p>1 市長の権限（権力）と政治・行政手法について</p> <p>(1) 市民のトップリーダーとしての市長の権限、任務（役割）責任はかくあるべし・・・、市長の政治信条、抱負を改めて伺いたい。</p> <p>(2) 住民の日常生活における行政への要望、期待を市長としてどのようにとらえているか。その認識について伺いたい。</p> <p>(3) 市民に定着した在任20年の市長の政治手法、具体的事例を引き合いに風間市長のその違いについて伺いたい。</p> <p>(4) 地域住民の任意組織である自治会（自治会長）との関係はいかにあるべきか。</p> <p>2 新入学児童1名という小規模校の学校運営、児童の教育環境などに問題はないのか。</p> <p>学区制などの兼ね合いで検討する課題と考えるのがいかがか。また、児童生徒の登下校時における安全策について、再び伺いたい。</p>	<p>市長</p> <p>教育長</p>
10	4番 高橋鈍斎	<p>市が旧かんぼの宿を取得しその後の利活用に対する疑問点について</p> <p>(1) 既存の社会福祉法人があるのに、なぜ新たに市民による新社会福祉法人の許可取得か。</p> <p>(2) 旧かんぼの宿を「福祉の郷構想」としてリニューアルオープンした後も、従来どおり（一般の利用者）の利用も可能なのか。</p> <p>(3) 仮に市外の業者等が取得した場合、市民の利益に反する事態となる恐れも否定できずとあるが、その動きはあったのか。</p> <p>(4) どうして今回は、これまでの市民を交えてのワークショップ方式をとらなかったのか。</p> <p>(5) 現老人福祉センターを廃止し、市から委託で運営とはどういう意味なのか。</p>	<p>市長</p>